



中断...

SANtricity commands

NetApp

June 17, 2025

目次

中断.....	1
非同期ミラーグループの一時停止 - SANtricity CLI	1
サポートされているアレイ	1
ロール	1
コンテキスト (Context)	1
構文	1
パラメータ	1
注：	1
最小ファームウェアレベル	2
SSD キャッシュを一時停止する - SANtricity CLI	2
サポートされているアレイ	2
ロール	2
コンテキスト (Context)	2
構文	2
パラメータ	2
注：	2
最小ファームウェアレベル	2
同期ミラーリングの一時停止 - SANtricity CLI	3
サポートされているアレイ	3
ロール	3
コンテキスト (Context)	3
構文	3
パラメータ	3
注：	4
最小ファームウェアレベル	4

中断...

非同期ミラーグループの一時停止 - SANtricity CLI

suspend asyncMirrorGroup コマンドは、すべてのミラーペアのデータの同期を非同期ミラーグループレベルで中断します。

サポートされているアレイ

このコマンドは、すべてのSMcliパッケージがインストールされていれば、E4000、E2700、E5600、E2800、E5700、EF600、EF300を含む個々のストレージアレイに適用されます。

ロール

このコマンドをE4000、E2800、E5700、EF600、またはEF300のストレージアレイに対して実行するには、Storage Adminロールが必要です。

コンテキスト (Context)

この'suspend'コマンドは'ローカル・ストレージ・アレイ上の変更されたデータがリモート・ストレージ・アレイにコピーされるときに発生する可能性のあるホスト・アプリケーションのパフォーマンスへの影響を軽減します

構文

```
suspend asyncMirrorGroup [<em>asyncMirrorGroupName</em>]
```

パラメータ

パラメータ	説明
「asyncMirrorGroup」	データの同期を中断する非同期ミラーグループの名前。非同期ミラーグループ名は角かっこ ([]) で囲みます。非同期ミラーグループ名に特殊文字または数字が含まれている場合は、非同期ミラーグループ名を二重引用符 (") で囲んだ上で角かっこで囲む必要があります。

注：

中断状態の非同期ミラーグループでは、ミラーペアのプライマリボリュームからセカンダリボリュームへのデータのコピーは試行されません。非同期ミラーグループのプライマリ側への書き込みは、関連付けられているミラーリポジトリボリュームに永続的に記録されます。非同期ミラーグループが再開されると、プライマリボリュームの変更された領域だけがセカンダリボリュームに書き込まれます。

最小ファームウェアレベル

7.84

11.80で、EF600およびEF300アレイのサポートが追加されました。

SSD キャッシュを一時停止する - SANtricity CLI

suspend ssdCacheコマンドは、SSDキャッシュを使用しているすべてのボリュームのキャッシュを一時的に停止します。

サポートされているアレイ

このコマンドは、すべてのSMcliパッケージがインストールされていれば、E4000、E2700、E5600、E2800、E5700、EF600、EF300を含む個々のストレージアレイに適用されます。

ロール

このコマンドをE4000、E2800、E5700、EF600、またはEF300のストレージアレイに対して実行するには、Support Adminロールが必要です。

コンテキスト (Context)

キャッシュの停止中、ホストの読み取りはSSDキャッシュではなくベースボリュームから処理されます。

構文

```
suspend ssdCache [<em>ssdCacheName</em>]
```

パラメータ

パラメータ	説明
「ssdCache」	中断するSSDキャッシュの名前。SSDキャッシュ名は角カッコ ([]) で囲みます。SSDキャッシュ名に特殊文字または数字が含まれている場合は、SSDキャッシュ名を二重引用符 (") で囲んだ上で角カッコで囲む必要があります。

注：

キャッシュを再開するには'resume ssdCacheコマンドを使用します

最小ファームウェアレベル

7.84

11.80で、EF600およびEF300アレイのサポートが追加されました。

同期ミラーリングの一時停止 - SANtricity CLI

suspend SyncMirror primariesコマンドは'同期ミラーリング操作を一時停止します

サポートされているアレイ

このコマンドは、すべてのSMcliパッケージがインストールされていれば、E4000、E2700、E5600、E2800、E5700を含む個々のストレージアレイに適用されます。

ロール

このコマンドをE4000、E2800、またはE5700のストレージアレイに対して実行するには、Storage Adminロールが必要です。

コンテキスト (Context)



このコマンドの以前のバージョンでは、機能識別子は「remoteMirror」でした。この機能識別子は有効ではなくなり' SyncMirror に置き換えられます

構文

```
suspend syncMirror (primary [<em>primaryVolumeName</em>]
primaries [<em>primaryVolumeName1</em> ... <em>primaryVolumeNameN</em>])
[writeConsistency=(TRUE | FALSE)]
```

パラメータ

パラメータ	説明
「プライマリ」	処理を中断するプライマリボリュームの名前。ボリューム名は角かっこ ([]) で囲みます。ボリューム名に特殊文字または数字が含まれている場合は、ボリューム名を二重引用符 (") で囲んだ上で角かっこで囲む必要があります。

パラメータ	説明
「原色」	<p>処理を中断する複数のプライマリボリュームの名前。すべてのボリュームに同じプロパティが適用されます。以下のルールを使用して、ボリュームの名前を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • すべての名前は角かっこ（[]）で囲みます。 • 名前はそれぞれスペースで区切ります。 <p>ボリューム名に特殊文字または数字が含まれる場合は、次のルールに従って名前を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • すべての名前は角かっこ（[]）で囲みます。 • 各名前は二重引用符（""）で囲みます。 • 名前はそれぞれスペースで区切ります。
「ライトコンシステンシ」	<p>このパラメータは、このコマンドで特定したボリュームが書き込み整合性グループ内にあるか、別々のボリュームであるかを定義します。同じ書き込み整合性グループ内のボリュームの場合は、このパラメータを「true」に設定します。別々のボリュームの場合は、このパラメータを「FALSE」に設定します。</p>

注：

「writeConsistency」パラメータを「true」に設定すると、ボリュームは書き込み整合性グループ（またはグループ）に属している必要があります。このコマンドは、ボリュームを含むすべての書き込み整合性グループの同期ミラーリングを中断します。たとえば'ボリュームA' B 'およびCが書き込み整合性グループに属しており'リモートの対応するボリュームA"B"およびC'がある場合'コマンドは次のようになります

```
suspend syncMirror volume ["A"] writeConsistency=TRUE
```

このコマンドは'A-A'、B-B'、C-C'の同期ミラーリングを中断します。書き込み整合性グループ1= {A、B、C} と書き込み整合性グループ2= {D、E、F} があるとします。

```
suspend syncMirror volumes ["A" "D"] writeConsistency=TRUE
```

両方の書き込み整合性グループの中断

最小ファームウェアレベル

6.10

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。